みちのく未来基金事務局便り

【新しいスタッフです！よろしくお願いします】



さとう　あつこ
佐藤　篤子
（あっちゃん）



4月にカルビーから来ました。学校訪問を担当しています。みちのく生の夢を精一杯応援します。



さとう　みほ
佐藤　美甫
（みほちゃん）

今年の春から事務を担当しています。ふるさと東北の子どもたちの夢を笑顔でサポートします！

6月にロート製薬から来ました。仙台近郊の高校を担当しています。
東北での生活は初めてですが、1日1日大切に過ごしていきたいです。



しばた　はるな
柴田　春奈
（はるちゃん）



すえだ　たかし
末田　隆司
（すえちゃん）

4月にカゴメから着任。新たな刺激を糧にみちのく生の力になれるよう皆さんと共に走っていきます。

寄附金状況報告

＊2015 年 8 月 19 日現在

	金額（千円）	金額比率	件数	件数比率
個人	571,333	27.2%	22,215	90.0%
法人・団体	1,532,837	72.8%	2,469	10.0%
合計	2,104,170	100.0%	24,684	100.0%

震災当時、お腹の中にいた子どもが卒業するまで支援を継続するには、約40億円が必要です。
時間の経過と共に社会の関心が薄れていくことが懸念されます。
継続してご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

こんなエピソード

2015年8月19日の時点で基金発足から累計で約21億円のご寄附を賜りました。
「海外で音楽や紙芝居で震災を伝え寄附を募った」、「店頭に募金箱を置きお客様に賛同いただいた」、「被災地や支援団体を通して基金を知った」、「留学中に現地の仲間と共に支援活動を行った」等、様々な形で多数のご寄附をいただいております。

皆様からのご寄附は、すべて震災遺児の学費として使わせていただいております。

※奨学生交流費用と運営管理費用についてはスタッフ派遣企業４社の寄附金で賄っております。

■ご寄附方法　「銀行振込」「クレジットカード」による引き落とし」「現金書留」のいずれかをお選びいただけます。みちのく未来基金へのご寄附は寄附金控除の対象となります。

七十七銀行　店舗コード：本店 100　普通預金　口座番号 7951345

三菱東京 UFJ 銀行　店舗コード：仙台支店 314　普通預金　口座番号 0271354

ゆうちょ銀行
- ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行へのお振込　記号 18150　記号 27549411
- 他銀行からゆうちょ銀行へのお振込　店名　八一八　店番 818　普通預金　口座番号 2754941

共通　口座名義　公益財団法人　みちのく未来基金
口座カナ名義　ザイ）ミチノクミライキキン

＊上記のいずれかの口座にお振込み下さい。（お振込みには手数料がかかります）＊受領書発行ご希望の場合は、お電話・FAX もしくは E-mail にて送付先をご連絡下さい。

クレジットカードによるご寄附の場合　ホームページアドレスから入り、クレジット決済画面にてお申込みください。　みちのく未来基金　検索

現金書留によるご寄附の場合　郵便局から、当基金宛てに直接現金書留にてご郵送下さい。

銀行口座引き落としによるご寄附の場合　口座がある金融機関にお問い合わせ下さい。

≪支援企業・団体≫　5年以上継続で累計５百万円以上もしくは単年で１千万円以上のご寄附をいただいている企業・団体

（株）アール・アイ・エー / （株）アイ・エム・コーポレーション / 旭精工（株）/（株）足立音衛門 / アトム（株）/（株）アンズコーポレーション /（株）一如社
岩井機械工業（株）/ 岩瀬コスファ（株）/（株）ヴァンネット / エムスリー（株）/（株）大木 /（株）O 2（オーツー）/ 化成工業（株）/（株）カナエ
キヤノンマーケティングジャパン（株）/（株）協和 /（株）国元商会 / コクヨ東北販売（株）/ 小菅（株）/（株）サークルＫサンクス / 三省製薬（株）/ 山陽技研（株）
三和工業（株）/ ＣＫＤ（株）/（株）ＣＤＧ /（株）ジャスト / スターバックス コーヒー ジャパン（株）/（株）世界思想社教学社 / 大地みらい信用金庫
（株）宅都ホールディングス /（株）タマディック /（株）土金 / 電鉄通商（株）/ 東洋ビューティ（株）/（一財）戸沢暢美財団 /（株）トレンディ / 日進工具（株）
日本澱粉工業（株）/ 日本臨床口腔外科医会 / 熱研プラント工業（株）/（株）ノーリツ /（株）フィールコーポレーション /（株）ハウスメイトパートナーズ
（株）ハーティウォンツ / フクダ電子（株）/ 不二製油（株）/ 富士ゼロックス（株）/ BLEA / 北陸朝日放送（株）/（株）ホスピタリティエージェント /（株）北海道新聞社
（株）丸山珈琲 / 三菱自動車 STEP 募金 / 宮川興業（株）/ 未来航路（株）/（株）ヤオコー /（株）薬王堂 / 八千代電設工業（株）/ ユニー（株）/（株）Reach for the stars
医療法人社団 和幸会

≪後援企業・団体≫

五十嵐 ICT プロモーション / 岩手日報社 / 河北新報社 / 鈴木友隆公認会計士事務所 / 福島民報社 / 公立学校法人宮城大学（五十音順）

≪スタッフ派遣企業≫

ロート製薬（株）/ カルビー（株）/ カゴメ（株）/ エバラ食品工業（株）

ご協力いただいている全ての皆様に感謝致します。

Copyright(c) 2011 公益財団法人みちのく未来基金 All Rights Reserved.

2015年9月
第11号

みちのく未来通信

笑顔と共に元気を交換！
～4期生も交え、話・和・環が拡大～

公益財団法人みちのく未来基金
〒981-3135
宮城県仙台市泉区八乙女中央５丁目 10 番８号
八乙女ユナイトビル 2F
電話番号 022（343）9996
FAX 番号 022（343）9997
E-mail　info@michinoku-mirai.org
HP　http://michinoku-mirai.org/

3月の「4期生の集い」から早６か月、4期生も新しい生活に慣れ、学業に部活に励んでいます。先輩たちの中には将来の夢に向って就職活動を行ったり、既に社会に出て希望した職場で働いているみちのく生も。みちのく未来基金ではバーベキュー大会や夏の集いを開催し、みちのく生の「わ」を広げて各々の充実した生活をサポートしつつ、来年度に向け５期生のエントリーが進行中です。

夏の集い（８月９～10日）

みちのく生同士の親睦を深める「夏の集い」。今年は「ネイチャー&ビューティ」をテーマに、1期生から 4期生まで計 26名が参加して山形県 Asahi 自然観を舞台に開催しました。自然豊かなコテージに宿泊しながら、力を合わせた共同作業やチーム対抗戦を通して、「わ（話・和・環）」を一層深めました。



チーム対抗で自己紹介動画を作成



星空の下、光輝く花火



夢は？思いは？語りは尽きず



皆で楽しめ、コミュニケーションがとれるプログラムでよかった！
3期生



久しぶりにみちのく生やスタッフに会えて、イベントや語りを通して親交を深めることができました。
1期生

チームで協力して一つの目標に真剣に取り組めた。次は一位になれるよう料理頑張ります。
2期生

友達、先輩、スタッフの人と仲良くなれて楽しかった！
4期生





メニューの相談、決め手はうんちく？



自炊ならまかせとけ！



自分で作るとおいしい！

バーベキュー大会（6月14日）

東京会場

仙台会場

みちのく生の進学先は多彩で、全国各地で学んでいます。
東京と仙台に分かれ、最寄りの会場でバーベキューを
楽しむ企画を催しました。




▲東京会場：立川市　昭和公園

▼仙台会場：仙台市　茂庭荘



■ みちのく生の夏

みちのく生から近況が届いています。
暑い夏を元気に過ごす様子をご紹介します。

お揃いです～♪



さんさ踊りの太鼓に出るので
練習を頑張ってます (*^_^*)

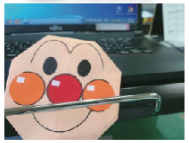
（岩手　4期生）

うなる剛球

全国大会出場決定！
目指すは全国制覇！
（京都　2期生）
※準優勝しました。



私のデスク



地元の小学校で事務を
しています。
社会人2年目、やっと
慣れてきました！
（宮城　1期生）
※2014年卒業

マシンと一体

レース車両を製作して
競技する学生フォー
ミュラという大会に
出場します！
（岩手　4期生）



浴衣で息抜き



就活中で大変なこと
いっぱいありますが、
早く決められるように
がんばりたいです。
（愛知　3期生）

■「基金設立の記録」が完成！

みちのく未来基金の発足から、1期生の集いまでの1年の歩みを綴った、
「みちのく未来基金設立の記録」（代表理事 長沼孝義著）が完成しました。
多くの貴重な出会いや基金の考え方、運営の形成経緯等がまとめられています。
無料でお送りしますので、ご希望の方は基金事務局までお気軽にご連絡下さい。

ホームページでも閲覧可能です。



こんなエピソード

震災当時、本吉響高校で教頭職をお務めになり、記録にも登場する佐藤浩先生（現・宮城県教育庁教職員課　課長補佐）のもとへも冊子をお届けし、お話を伺いました。

・直後の混乱で給付金の使われ方に不安があり、基金から大学等への直接振込を助言しました。

・震災から４年半、落ち着いてきた反面、幼い世代への配慮が低下し、風化防止が課題となっています。基金には対象者の掘り起し等を継続していってほしいと思います。

■ 5期生を迎えるために

今年度も各高校の先生方にご協力いただき、岩手県・宮城県・福島県の高校を訪問・調査した結果、2016年春卒業予定の震災遺児は119名に上りました。
そのうち進学希望者は浪人生を合わせ96名となりました。

本年度もエントリーした子どもたちに基金のスタッフが面談を行い、基金の概要を説明すると共に、高校で今頑張っていることや将来の夢を語ってもらいました。

■進学希望者（浪人生含む）

エリア	人数
岩手県	36
宮城県	47
福島県	6
3県以外	7
合　計	96

～面談で聞いた将来の夢～

・獣医になって、地元で動物病院を開業したい。
・勉強が好きです。外国で仕事ができるような人になりたいです。
・これまでやってきた部活でお世話になっていたスポーツトレーナーのように、選手を裏で支えていきたい！



基金スタッフが説明を行い、１人１人の思いを聞きます。

こんなエピソード

・５期生は沿岸部だけでなく、内陸部の高校や、東京都や広島県等の東北３県以外の高校に通う生徒も多数います（震災による転居の影響もあると考えられます）。
・1期生から4期生の弟妹が全体の約3割を占めています。
・全国大会に出場する生徒もおり、部活動にも熱心に取り組んでいます。
・留学経験を積んだことで、将来、国際的に活躍したいという希望もありました。



それぞれの希望を持って勉強に励んでいる彼らを5期生として迎え入れる日に備えていきます。

～サポーター紹介～

■ 普通の学生生活を送ってほしい

基金発足時より支援いただいている三省製薬株式会社（福岡県大野城市）の陣内社長をお訪ねしました。



ロート製薬の山田会長からのお手紙がきっかけで、みちのく未来基金に出会いました。「使い道が明確な支援を継続して」という趣旨に深く共感し、ここなら安心して任せられると考えました。

震災直後に出張した東京でも大きなダメージがあったのに、戻ってきた福岡ではホワイトデーの買い物で賑わっていて、大きなギャップを感じたことを今でも鮮明に覚えています。この時、「何かしないといけない、何かしたい」と強く思いました。

復興への支援については難しく考えていません。支援が必要な人がいて、その人たちの為に基金が活動していく限り、続けていきたいと思っています。卒業生が多数巣立っていくことに、年数の経過を感じますが、基本的な思いは変わりません。長く協力できることに誇りを持っています。



みちのく生には、「我々三省製薬のことは気にしなくていいから」と伝えたいですね。震災が無ければ普通にできていたことが難しくなってしまった人がいて、それを支援しているだけです。ごく普通の学生生活を気負わずに送っていただきたいと願っています。